

NEWS RELEASE

報道関係者 各位

ニッケコルトンプラザ “ツムグテラス” キッズデザイン賞 受賞のお知らせ。

この度、弊社グループ、『コルトンプラザ “ツムグテラス”』がキッズデザイン協議会主催 第14回キッズデザイン賞「子どもたちを生み育てやすいデザイン部門」を受賞しましたのでお知らせします。



ニッケコルトンプラザは、ニッケグループの祖業である織物工場時代から100年にわたり地域社会に根差し、地域に貢献する施設として商業施設の開業から30年を迎え、「待機児童問題」「地域コミュニティの希薄化」「施設の老朽化と頻発する風雨災害」の課題を背景に、アネックス棟の建替え工事として着工、ツムグテラス、Kids Duo International ニッケコルトンプラザ市川として2019年オープンしました。

1. 賑わいと憩いを生み出す店舗
2. 安全性と開放性を両立する保育教育空間
3. 保育園×店舗の相乗効果により地域の支持を得る施設

を課題へのアプローチとして、

「大型商業施設内に空中庭園を持つ都市型保育園」

を建築テーマに、「ご家庭、地域の方々、スタッフ、みんなで子どもたちを育む保育園」を目指しています。

■キッズデザイン賞：「子どもたちが安全に暮らす」「子どもたちが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」という目的を満たす、製品・空間・サービス・活動・研究から優れた作品を選び広く社会に発信していくことを目的に2007年創設。
<https://kidsdesignaward.jp/>

■キッズデザイン協議会：次世代を担う子どもたちの安全・安心の向上と、健やかな成長発展につながる社会環境創出のために、業種を超えて集う2007年設立されたNPO法人。

<https://kidsdesign.jp/>



《 本件に関する問い合わせ先 》

株式会社ニッケライフ
代表取締役社長 川野 玲
Tel : 06-6205-6648

大型商業施設内に空中庭園を持つ都市型保育園 コルトンプラザ “ツムグテラス”



■ 背景

毛織物工場時代から100年に渡って地域社会に根差し、開業から30年を迎えた大型商業施設のアネックス棟建て替え工事。

全国ワースト3の待機児童問題、子育て世代の流出による地域コミュニティの希薄化、商業施設の老朽化といった地域と施設の課題解決に同時に貢献する施設、「大型商業施設内に空中庭園を持つ都市型保育園」が計画された。

【概要】

建設地：千葉県市川市鬼高1-1-1

建設主：日本毛織株式会社

主用途：店舗、保育園、(認可外 定員432名)

施工社：株式会社竹中工務店

■ 課題

1. 都市型保育所を取り巻く課題

2017年、市川市の待機児童数は全国ワースト3を記録。保育所設置要件を緩和した結果、園庭の無い保育所が乱立。(園庭保有率55%、全国平均-21%)
また、2016年には騒音問題などを理由とした住民の反対運動により、保育所が開園を断念したこともあった。

2. 商業施設の老朽化と頻発する風雨災害

商用施設として開業から30年を迎え老朽化が進んでいた。さらに、千葉県は近年多発する風雨災害に襲われており、安心して暮らす居場所づくりが必要であった。

3. 地域のコミュニティの希薄化

市川市は東京のベッドタウンとして発展してきたが、子育て世代の流出による地域コミュニティの希薄化が進んでいた。

これら地域と施設の課題解決に同時に貢献する施設づくりが求められた。



■ 地域課題へのアプローチ

地域と施設の課題解決に同時に貢献するため、「大型商業施設内に空中庭園を持つ都市型保育園」を計画。

1. 賑わいと憩いを生み出す店舗
2. 安全性と開放性を両立する保育教育空間
3. 相乗効果により地域の支持を得る施設

1. 賑わいと憩いを生み出す店舗

すべての店舗が豊かな外部空間と連続し、アクセスのよい路面型店舗とし、カフェには子供と過ごすキッズコーナーを設け、こどもと安全に憩うことのできる店舗づくりとしている。





2. 安全性と開放性を両立する保育教育空間

● 安全性の確保

一般的な都市型保育園の屋上庭園ではなく、中庭園庭として、不特定多数の出入りする商業施設内でも、園児のプライバシーを守り、安全で快適な保育園とした。

● 開放性の創出

子どもに合わせて、廊下の天井高さを低く抑え、教室とつながる開放的な中庭を中心に、こどもたちの生活が広がることを期待しています。また、中庭の一角にはバルコニーを設け、豊かなケヤキと、商業施設の広場との連続性を創出した。

● 自然採光、自然換気、自然通風の確保

柱のない全面開口の中庭側と外壁側の喚起窓により、自然採光、自然通風を確保して環境負荷を低減するとともに、軒天スリットによる給排気により、ベントキャップのない納まりとしている。

● 騒音の低減

中庭により、商業施設からの音を低減するだけでなく、隣接住宅地への騒音低減にも貢献している。





地域と商業施設の課題を同時に解決する
アネックス棟プロジェクト



3. 保育園×店舗の相乗効果により地域の支持を得る施設

敷地内の鎮守の森へのお散歩、本館スーパーでの買い物体験など、商業施設ならではのコラボレーションが創出されている。

また、1階カフェでは、絵本の読み聞かせや親子カフェを開催し、子どもを送迎に来た親たちと子どもたちが憩う場を提供するだけでなく、平日の朝夕といった、これまでの商業施設にない新たな時間帯の需要を取り込むことで、こどもと親の会話を楽しむ地域の新たなライフスタイルを生み出している。



■ 敷地内本館のスーパーでの買い物体験
道路を渡らずに安全に行けて、店舗の賑わいにも貢献



■ キッズコーナーのある1階カフェ
絵本の読み聞かせや親子カフェを実施



3. 保育園×店舗の相乗効果により地域の支持を得る施設

■ 波及効果

開園から1年が経過し、保育園の園児の保護者から、商業施設内にもかかわらず、安全で開放的な園庭が好評である。また、商業施設側からは、園児を連れた保護者の店舗利用客が見られるようになった、との意見を得ている。

また、待機児童問題に商業施設が取り組む新たなアプローチと、長年のまちづくりへの貢献が評価され、市川市景観賞、千葉県建築文化といった社会的評価も得ることが出来た。
今後、保育園の活動がさらに広がり、さらなる相乗効果が生まれることを期待しています。